

1月

「富士通フロンティアーズ」 ライスボウル3連覇

アメリカンフットボールチーム「富士通フロンティアーズ」が、日本選手権「第77回ライスボウル」で、3年連続通算8回目となる優勝を果たした。

能登半島地震の被災地に職員を派遣

令和6年能登半島地震の発生を受け、石川県輪島市において避難所運営等の支援を行う職員派遣を実施した。

2月

等々力陸上競技場の愛称が

「Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu」に

等々力緑地再編整備事業として、富士通株式会社がネーミングライツパートナーとなり、等々力陸上競技場の愛称が「Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu」に決定した。

3月

「NECレッドロケッツ」

V.LEAGUE V1 WOMENで2連覇

女子バレーボールチーム「NECレッドロケッツ」がVリーグで2年連続優勝を果たした。昨シーズンに続き皇后杯との2冠を達成し、キャプテンの古賀紗理那選手が2年連続リーグMVPを受賞した。

川崎市ホームページ、

モバイル視点で全面リニューアル

市ホームページが11年ぶりの全面リニューアルを実施した。利用者の7割以上がスマートフォンを使用していることから、モバイル視点を取り入れるとともに、政令指定都市で初めて「やさしい日本語」翻訳機能を導入するなどの機能向上を図った。

4月

川崎市の人口が155万人を突破

市の人口が市制100周年となる令和6年4月に155万人を突破した。令和6年12月1日現在の人口は1,552,270人。

「富士通レッドウェーブ」 第25回Wリーグ優勝

女子バスケットボールチーム「富士通レッドウェーブ」が16年ぶり2度目となるWリーグ優勝を果たし、キャプテンの宮澤夕貴選手がプレーオフMVPを受賞した。

川崎未来エネルギー株式会社 事業開始

再エネ100%の地域エネルギー会社「川崎未来エネルギー」が、4月稼働の橘処理センターなどのごみから作られる「川崎産グリーン電力」を201の公共施設に供給開始した。また、10月からはヤマト運輸株式会社の営業所に民間事業者初となる電力供給を開始し、再エネ電力の地産地消モデルを実現した。

5月

等々力緑地の球技専用スタジアムと

新とどろきアリーナが

国の「スタジアム・アリーナ」に選定

等々力緑地再編整備事業として整備予定の球技専用スタジアムと新とどろきアリーナが、スポーツ庁及び経済産業省が公募した「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」に選定された。まちづくりや地域活性化の核となることが期待される。

「川崎市×うんこドリル 子どもの権利」完成

子どもの権利を楽しく学べるよう、うんこドリルとコラボしたドリルが完成した。7月には、市内3か所でお披露目イベントも開催し、来場者がうんこ先生と一緒にドリルの問題にチャレンジする企画も行われた。

橘樹官衙遺跡群に「橘樹歴史公園」オープン

川崎市初の国史跡に指定された橘樹官衙遺跡群の一面に、全国初となる飛鳥時代の倉庫を復元した「橘樹歴史公園」がオープンした。

6月

「KADOKAWA DREAMS」

D.LEAGUEで2連覇

川崎市内で活動するプロダンスチーム「KADOKAWA DREAMS」が、世界初のプロダンスリーグ「D.LEAGUE 23-24」で優勝し、2連覇を達成した。

等々力緑地一帯で「かわさき飛躍祭」を開催

市制100周年の祝賀イベント「かわさき飛躍祭」が開催され、川崎ゆかりのアーティストが集った「かわさき100フェス」、「川崎フロンターレ市制100周年記念試合」、スポーツ体験・食のイベントにブルーインパルスの飛行展示などで賑わい、約18万人が来場した。

多摩川スカイブリッジ 国土交通大臣賞を受賞

本市と東京都が共同で整備した「多摩川スカイブリッジ」が、全国街路事業促進協議会主催の第36回全国街路事業コンクールで国土交通大臣賞を受賞した。

JR南武線・稲田堤駅の自由通路が全面開通

JR南武線・稲田堤駅の自由通路が全面開通し、踏切を渡らずにスムーズに駅改札等へ行くことが可能となり、踏切付近の歩行者の混雑が解消するなど、稲田堤駅周辺のアクセス性と安全性が向上した。

7月

市制100周年記念式典を開催

市制100周年の7月1日に記念式典がミューザ川崎シンフォニーホールで開催された。パイプオルガンの演奏や市の100年のあゆみや魅力をまとめた記念映像の上映、市政に功労した228組の方々の記念表彰式、特別編成のオーケストラ・合唱団約520名による記念演奏が行われ、歴史的な節目が祝われた。

武蔵溝ノ口駅の発車メロディが

平原綾香さん演奏の「Jupiter」に

市制記念日の7月1日に、JR南武線武蔵溝ノ口駅の発車メロディが、高津区ゆかりのアーティスト平原綾香さんがアレンジし、サクソフォーンで演奏した「Jupiter」に変わった。7月1日には武蔵溝ノ口駅で平原さんとともに記念セレモニーが開催された。

8月

自動運転バスのプロジェクトがスタート

全国初の都道府県をまたぐルートと1日30万人以上が利用する川崎駅前を走行するルートにおいて、最先端技術と最新の自動運転EVバス車両を導入した実証実験「KAWASAKI L4 Bus Project」が始まった。

9月

能登半島地震で発生した災害廃棄物の処理を 市内で開始

輪島市、珠洲市で発生した建物の解体等に伴う災害廃棄物について、本市の鉄道輸送コンテナを活用して受入れ、浮島処理センターで処理が開始された。

10月

全国都市緑化かわさきフェアを開催

川崎市市制100周年の象徴的事業として、国内最大級の花と緑の祭典である「第41回全国都市緑化かわさきフェア」が、10月19日から11月17日まで開催された。11月1日には、佳子内親王殿下の御臨席を賜り、「令和6年度全国都市緑化祭」が開催された。令和7(2025)年3月22日から4月13日にも開催予定。

11月

川崎駅周辺で

「秋の4大イベント」を同時開催

11月2日から4日にかけて「川崎愛 遊びつくす3日間」と題し、「Colors, Future! Summit 2024」「みんなの川崎祭」「川崎夜市」「かわむすのおんがえし」が同時開催された。市役所通りが歩行者空間となり、「Colors, Future! Summit 2024」と「みんなの川崎祭」には約13万人で賑わった。

12月

第45回かわさき市民祭りを開催

第45回かわさき市民祭りが富士見公園で開催された。初めて12月に開催され、開催時間も夜7時まで延長された。市制100周年を記念し、冬の季節感や夜を活かした雪遊び体験やハッピーアワー企画などの特別企画が実施され、45万人の来場者で賑わった。

「富士通レッドウェーブ」 第91回皇后杯優勝

女子バスケットボールチーム「富士通レッドウェーブ」が17大会ぶり 4度目となる皇后杯優勝を果たした。キャプテンの宮澤夕貴選手がWリーグプレーオフに続きMVPを受賞した。